

月報

61号

発行所

青丘文庫

編集・発行★韓 哲 曠

〒654 神戸市須磨区須磨寺町4-3-1

メゾンド青丘ビル2階

TEL(078)734-5989 FAX 735-0660

東満朝鮮人の抗日武装闘争

— 金 日成問題 —

姜 在彦

『朝鮮民族運動史研究会 第九十八回例会』

1990年
12月16日(土)

東満における抗日武装闘争は、一九三二年十月十二日に
中共中央が満洲省委に遊撃隊創建を指示、同年十二月に
東満特委書記となった喜長栄が、延吉、明月溝で各県委
責任者会議を召集して遊撃戦方針を決定したときから始
る。ところが一九三四年に党及び遊撃隊、大衆団体が、
民生団問題で混乱、集団部落、日満軍の包囲攻撃のため
三十五年三月の腰信溝会議で東満の遊撃根拠地を解散、
東北人民革命軍の一部は北満の寧安、東寧方面、他の一
部は南満の安図県車廠子に異動することを決定した。

その間、東満における抗日武装闘争を考える場合、金
日成がどのようににかかわったかということが、もともと
大きなネックとなる。一部にはニセモノ説もあるが、私
はそこかわりを否定するものではない。ただ北朝鮮で
刊行された伝記や近代史叙述には、かれの業績を針小棒
大にしているため、神話の部分と史実の部分とをよりわ
けるのが、頭痛の種である。伝記であれ、近代史であれ
神話の部分が半分以上を占めると、すでに史書としての
信頼性を失う。

本人が現存している北朝鮮のそれらが、一々検討して
いると収拾がつかないほど、混乱がひどい。例えば先に
述べた明月溝で、金日成は党及び共青幹部会議を召集し

歴史的演説「日本帝国主義に反対する武力闘争
を組織し展開することについて」で、武装闘争
方針を示したことになる。では党及び共
青の幹部という場合、どの国の党及び共青なの
か、もしそれが中国のそれであるならば、金日
成はいづつ中国共産党に入党し、幹部会議を召集
するほどの地位にのぼったのかも分らない。中
国文献にあるように、その会議が東満各県委責
任者会議であるならば、東満特委書記か、そ
のような会議を召集できる権限は持っていない
はずである。満洲全域における武装闘争は中共
の指導のもとに行なわれたからには、その文献
に依拠した研究を主とし、北朝鮮のそれを参考
にする程度で考えるほかない。

迎春

今年もどうぞ宜しく
願申し上げます。

1991年 元旦

青丘文庫 代表
韓 哲 曠

朝鮮人B C級戦犯の問題

梁 永厚

「在日朝鮮人運動史研究会 第128回例会」

1990年
12月9日(B)

朝鮮人B C級戦犯問題については、東京の内海愛子氏の著書があり、大阪の吉岡増雄氏も執筆を進めているときく。一九六三年に続売TVで放映された大島渚監督の「忘れられた皇軍」の項に収集した資料を紹介した。さらに日朝国交交渉で議題になる「償い」の問題。かつて日本政府は韓国に対して「償い」ではなく相互の請求権の話し合いをし経済協力といった形の妥結をしている。日本側が持出し、マスコミも迎合している「償い」といった言葉に幻惑されてはならない。在日の足元をもっと見つめて、在日からの要求を出さねば、という問題意識に因んで報告をした。

在日朝鮮人B C級戦犯であった人達の組織として同進会というのがある。この組織の人達は、主として一九四二年六月に朝鮮軍司令部の命令によって、浮虜監視要員として動員された人達である。慶尚南、北道において二十才前後の青年三千人余りが徴用され、釜山西面の野口部隊に入隊、二カ月の訓練を経て、南方方面へ派遣され、日本の敗戦と同時に現地で徴用解除された人達である。現地で徴用解除後、勤務時のことが問題されて戦犯裁判にかけられた人がいた。裁判の結果二三名が現地で死刑に処され、一二五人が現地の刑務所で服役することになった。その後オランダ関係の戦犯は一九五〇年一月に、英豪関係の戦犯は五一年の

八月に日本の巢鴨刑務所へ移された。そして服役中の五二年四月に日本国籍を剥奪された。ところが科刑時に「日本人であった」とGHQにかわって日本政府によって拘禁された。国籍を一方的に奪われたことに因み、人身保護法による救済と釈放を日弁連に訴え、日弁連は東京地裁に提訴をしたが、管轄でないと門前払いを喰った。また刑期終了前に仮釈放された人が本国へ帰ろうとする場合、仮釈放中であると足止めをされた。最終的に全員が釈放されるのは一九五七年のことであった。これらの人達が、同進会を結成し、日本政府に対し法的道義的な謝罪と補償を要請した。日本当局の対応は冷酷という言葉に尽きた。一九五〇年の後半、参議院議員であった辻政信は、同進会を「赤」呼ばわりをして要請を絶とうとした。一方日本の軍人遺族会は国会への圧力団体として年金の引上げに血道をあげていた。そして今日迄も朝鮮人戦犯に対する日本当局の対応はゼロである。日朝国交交渉の中で在日同胞の諸問題を深く掘り下げ解決を図らずに政府の思惑だけで決着するならば、日本当局の誠信はなし、と判断でき、朝鮮政府は海外公民を利用だけする権力の亡者ということになる。注視しながら追求をしていきたい。

1990年
12月15日(土)

I 研究領域

「日韓キリスト教関係史」は広範囲で様々な問題を
持つが類型的に分類すると①宣教史として比較し②
両教会に与えた具体的(歴史的)事件や活動を中心と
して③両教会の形成発展過程での特徴を社会的に
分析することであり、この三つの領域を集約連関さ
せるテーマは「日韓キリスト教史における国家ある
いは民族の問題に関する歴史的研究」である。それ
は日韓キリスト教の受容と展開研究の核心をなすと
考える。

II 研究目次

- 1、国家あるいは民族の概念
- 2、日韓キリスト教の受容背景
その歴史的背景、共通点と相違点
- 3、韓国キリスト教の民族教会形式過程
階層、地域別受容過程の特徴
民族運動の展開過程、指導者たちの民族観
信仰観、一般信徒達の信仰特徴、
西欧神学との葛藤
- 4、日本プロテスタントの日本的キリスト教形式過程
地域、教派別受容過程の特徴、指導者達の国家理解
大教派の国家との親密性と小教派の国家との葛藤
天皇性と日本キリスト教の歴史的関係

日本キリスト教の韓国進出、韓国教会の
在日韓人宣教、日本教会指導者達の韓国観
と日本教会の戦事協力、韓国キリスト者の
信仰的抵抗過程、日韓キリスト者の信仰内
容の相違点

6、戦後日韓キリスト教の信仰立場の整理

韓国キリスト教と民族状況の変化

日本キリスト教の国家観の修正

7、日韓キリスト教の将来と歴史的責任

III 研究目的と方法

1、目的—一定の時代と地域における教会の
信仰の特徴がその歴史的状況とどのように
具体的な関連性を持っているか日韓教会が
相反する時代状況の中でどのような立場を取っ
たか、その共通点と相違点を明らかにする。

2、方法

- ① 既存の研究業績を十分に活用する。
 - ② 日韓教会指導者達と一般信徒達の関係と
民族に関する信仰的思想の特徴を分析する。
 - ③ 教会の民族国家に関する声明や教会法に反
映された信仰告白を分析する。
 - ④ 社会経済的背景や地域教派的背景によつて
異なる信仰立場を社会経済史的に分析する。
 - ⑤ 現在の日韓教会の国家と民族に対する立場、
宣教政策、社会運動路線を比較検討する。
- こうした分析検討によつて日韓教会が将来民族国
家問題における神学的宣教的協力の可能性とその
課題を明らかにし、アジア神学の形成と世界キリ
スト教の寄与のためのビジョンを提示する。

新図書案内

靈과眞理 [1~10]

가톨릭 研究 [1~5] 1934~1936年 韓國教會史研究 ソウル 同所 23cm

가톨릭 朝鮮 [6~9] 1937年 // // // //

경향 잡지 [目録] 1卷~35卷 1906~1941年 韓國天主教中央協議會 ソウル

實 鑑 [1~4] 韓國天主教中央協議會 ソウル 大學社 23cm

경향 잡지 [5~35] 1911~1941年 韓國天主教中央協議會 ソウル 大學社

基督教思想 [1~16] 金 昭暎 ソウル 大韓基督教書會 88年

동양을 심건 커출라프 이 진호 한국감리교회사학

독립기념관 전지품 목록 한국독립운동사연구소

105人事件 新民會研究 尹 慶老 ソウル 一志社 P306 90年

韓國基督教의 歷史意識 李 萬烈 ソウル 지식선연사 P353 89年

大韓帝國地籍 測量史 李 鎮昊 ソウル 도지 89年

독립기념관 해국시·어록비

사진으로 본 새문안100 1887~1987 ソウル 새문안교회 89年

大韓民國史資料集 [4, 5] 國史編纂委員會 京畿道 同所 P573, P511

備邊司 謄錄 [1~2] // // // 89年

朝鮮王朝實錄 [歷史篇1, 思想篇1, 軍事篇2] 國史編纂委員會 京畿道

各司謄錄 [34~39] 平安道篇6~11 國史編纂委員會 京畿道 89年

國史館論叢 [第1號~10號] // // //

駐韓日本公使館記錄 [4~11] // // //

研究会御案内

在日朝鮮人運動史研究会 第129回例会

日 時 1991年1月13日[日] 午後2時

テーマ 私の「軌跡」

報告者 朴 憲行氏

朝鮮民族運動史研究会 第99回例会

日 時 1991年1月20日[日] 午後2時

テーマ 民族戦線連盟の[綱領]に関して

報告者 鹿嶋 節子氏

日韓、在日キリスト教関係史研究会 第12回例会

日 時 1991年1月26日[土] 午後2時

テーマ 美以教会の朝鮮伝道

報告者 望月 智氏

: 場所はいずれも青丘文庫にて